

製品名: JAB1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87273**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:38 kDa; Observed MW:38 kDa

抗原情報

遺伝子名	JAB1
別名	CSN5; JAB1; SGN5; MOV-34
遺伝子ID	10987
SwissProt ID	Q92905
免疫原	ヒト JAB1 の合成ペプチド

背景

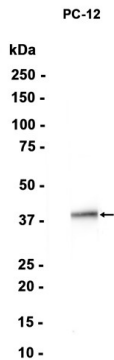
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、COP9 シグナロソームを構成する 8つのサブユニットの1つです。COP9 シグナロ

ソームは高度に保存されたタンパク質複合体であり、複数のシグナル伝達経路において重要な調節因子として機能します。COP9 シグナロソームの構造と機能は、26S プロテアソームの 19S 調節粒子と類似しています。COP9 シグナロソームは、SCF 型 E3 ユビキチンリガーゼと相互作用し、E3 ユビキチンリガーゼの正の調節因子として機能することが示されています。このタンパク質は、サイクリン依存性キナーゼ阻害剤 CDKN1B/p27Kip1 の分解に関与することが報告されています。また、JUN/AP1 転写因子の特異性を高めるコアクチベーターとしても知られています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

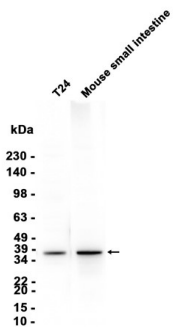
研究分野

-

画像データ



JAB1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した PC-12 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe87273 を 1:1000 で使用して、T24 細胞およびマウス小腸組織からの抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。